

環境活動ノート

活動名 私たちの守るもの 2024

さっぽろ
こども環境
コンテスト
2024

活動内容を
記入して
ください



温暖化について考える体験

1年を通じて行った生き物調査から、オオムラサキの幼虫が木から落ち葉に移動するタイミングや落ち葉から木に移動するタイミングは気温の変化が関係していることがわかりました。また、同じ池の中で、エゾアカガエルとエゾサンショウウオのたまごをうむ場所がちがうのは、水温が関係していることがわかりました。温暖化について、はじめは平均気温が1℃上がると聞いてもそれほど大変なこととは思いませんでした。しかし、生き物調査を通じ「1℃」の大切さを知ってからはとても大変なこととを感じるようになりました。10月の活動では、自分たちで火をおこし、ドラム缶風呂を沸かしました。薪を割り火おこし、おこした火で薪を燃やしお湯を沸かしました。この体験から、エネルギーの使い方について考えることができました。普段はスイッチを押すだけで何でもできる便利な生活です。温暖化防止のための省エネルギーについて考えました。

参加
団体名

旭山自然調査隊

- ☐ 小学生の部
- ☐ 中学生の部
- ☒ その他団体の部

当てはまるものにチェックしてください。

環境活動ノート

活動名 私たちの守るもの 2024

さっぽろ
こども環境
コンテスト
2024

活動内容を
記入して
ください



在来の樹林を守り多くの生き物のすみかを作る活動

もともとあった広葉樹の樹林を再生するために、群生してしまうニセアカシアやオオアワダチソウ、オニグルミ、クズといった草や木を取り除く活動を行っています。また、木の幼稚園として広葉樹の幼樹を植えています。

2016年からオオムラサキ(蝶)の幼虫のエサであるエゾエノキを植える活動をしています。園内の「巨木の谷」「みんなの小道」「学びの森」と呼ばれる離れた別々の場所に植え、蝶が園内を飛び回るよう「蝶の回廊」を作りました。毎年、5月～7月、8月、11月にオオムラサキの観察をしています。今年は「母樹」「巨木の谷」「みんなの小道」「学びの森」の4か所のエゾエノキでたまごを確認することができました。

今年は、「みんなの小道」のエゾエノキの根元に新しくエコスタック(落ち葉が溜まる枠)をつくりました。

参加
団体名

旭山自然調査隊

- ☐ 小学生の部
- ☐ 中学生の部
- ☒ その他団体の部

当てはまるものにチェックしてください。

環境活動ノート

活動名 私たちの守るもの 2024

さっぽろ
こども環境
コンテスト
2024

活動内容を
記入して
ください



水辺の小さな命を守る活動

4月と9月は「ふしぎ池」、5月は「双子池」、6月は「円山川源流」で水辺の生き物の観察を行いました。

9月には「ふしぎ池」の水辺の環境を守る活動として池底の泥を取り除く作業を行いました。「ふしぎ池」は湧水があり一年中水温が一定で低い水温を好むエゾサンショウウオが生息しています。ここ数年、池のまわりを通るシカが増えたことで、土が露出するようになりました。そのため雪どけや雨とともに池に泥が多く流れ込むようになりました。池底は落ち葉が堆積していて、泥が入り込むことで、酸欠がすすみ池の環境が悪化しています。

2022年から池底のヘドロを取り除く作業を行っています。今年でこの作業は3回目となります。みんなで列になりバケツリレーで泥を運びました。今年は50杯取り除きました。

参加
団体名

旭山自然調査隊

- ☐ 小学生の部
- ☐ 中学生の部
- ☒ その他団体の部

当てはまるものにチェックしてください。